

施策評価シート (平成24年度の振り返り、総括)

作成日 平成25年 07月 08日

施策 No.	19	施策名	高齢者の自立と社会参加の支援
主管課名	福祉課	電話番号	0285-83-8195
関係課名	国保年金課 健康増進課 介護保険 生涯学習課 自然教育センター (社会福祉協議会)		

施策の対象	65歳以上の市民								
対象指標名	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	26年度見込
高齢者人口(65歳以上)	人				16,059	16,160	16,498	17,158	18,500

施策の意図	高齢者に ・健康で生きがいを持って生活してもらう ・積極的に社会参加してもらう ・自立した生活をしてもらう								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	ねたきり高齢者 介護度4・5の者 社会参加している高齢者数は、趣味クラブ、老人クラブ、シルバー人材センター登録人数、地域づくり事業ミニデイ等参加者、65歳以上の民生委員等とする。								
成果指標名	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	26年度基本計画目標値
ねたきり高齢者数	人				775	785	752	753	862
高齢者人口に占める割合	%				4.83	4.85	4.56	4.39	4.70
社会参加している高齢者数	人				4,540	5,797	5,952	6,255	5,800
高齢者人口に占める割合	%				28.3	35.8	35.6	36.5	31.4

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	高齢者には生きがいをもって積極的に社会参加してもらう。 行政は自立した生活が送れるよう生きがいづくりや社会参加をしてもらうための、情報の提供や支援を行う。								
-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

（1）施策成果の時系列比較（過去3年間の比較）

・真岡市の24年10月の高齢化率は20.7%であり前年比0.7ポイント上昇している。

23年10月:20.0% 22年10月:19.7%

・ねたきり高齢者は横ばいであるが、支援が必要と思われるひとり暮らし高齢者世帯、高齢者のみ世帯ともに増加している。24年度末:ひとり暮らし世帯1,242世帯、高齢者のみ世帯1,290世帯

23年度末:ひとり暮らし世帯1,211世帯、高齢者のみ世帯1,248世帯

・社会参加をしている高齢者数は、増加している。

・老人クラブ数は会員数は減少傾向にある。24年度末92クラブ、会員3,141名

23年度末:92クラブ3,261名 22年度末:94クラブ3,426名

・シルバー人材センター会員は減少傾向にある。24年度476名 契約金額2億2,738万円

23年度:517名 契約金額2億5,226万円 22年度:497名 契約金額2億5,975万円

減少の理由は、定年後の再雇用や不況により工場からの派遣業務発注が減少し、従事していた会員が退会したことなどが考えられる。

（2）近隣他市との比較

・高齢化率(10月1日現在人口統計)

24年:市:20.7%県23.2%(14市中下から3位 1.下野 2.小山)

23年:市20.0%県22.1%(3位) 22年:市19.7%県21.8%(4位)

・老人クラブ加入率 24年度13.5%

(14市中上から5位 1.那須烏山 2.足利 3.佐野 4.宇都宮) 23年度:14.0%(5位)

・シルバー人材センター加入率(60歳以上人口に対する会員数)

24年度:2.0%(14市中上から4位 1.下野 2.那須塩原 3.矢板)、

23年度2.2%(5位)、22年度2.3%(4位)

（3）住民期待水準との比較

・市民意向調査では、今後力を入れてほしい施策として「高齢者福祉の推進」(43.9%)が1位となっている。

〔補足事項に、高齢化状況資料有〕

24年度の
評価結果

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

- ・老人クラブ、趣味クラブ（囲碁、四つ竹踊りなどの10団体）、シルバー人材センターへの加入促進を図った。
- ・老人憩の家、老人研修センターの利用促進を図った。
（憩の家:114回延べ2,730名利用、老研センター：104回延べ2,477名利用）
- ・老人研修センターでは、児童生徒と高齢者との交流活動を行っている。
- ・健康増進施設真岡井頭温泉の利用助成を促進した。（温泉利用者延べ46,918名）
- ・真岡市独自のふれあい地域づくり事業の中で、地域福祉づくり推進事業（井頭温泉招待事業、ミニデイホーム事業、敬老会事業など）を通して、社会参加を支援している。
23年度から高齢者見守りネットワーク事業を取り入れ、地域で高齢者等の見守り活動を組織し活動した。（24年度:12地区）
介護予防のためノンケア体操などの介護予防体操の普及や指導者の養成を行った。
（24年度:30地区）
- ・介護予防の高齢者向け各種教室を実施した。口腔機能向上講座、シニア安心セミナー、認知症関連講演会など（延べ2,045名）

24年度の
評価結果

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

- ・今後団塊の世代が65歳を超える平成26年度までには、前期高齢者の急激な増加が予測されており、高齢者が自主的に社会活動に参加できる機会を支援していくことが必要となる。
- ・老人クラブや趣味クラブについては、市広報紙等で活動内容紹介などの啓発を行い、加入と活動への参加を推進する。25年度は老人クラブ保険の保険料を負担しクラブ活動を支援する。
- ・地域福祉づくり推進事業の中で、介護予防体操事業の実施を呼びかけ、ねたきりにならないための健康づくりを推進する。
- ・高齢者見守りネットワーク事業による、地域での活動を推進する。
- ・生きがい活動支援通所事業（デイサービス事業）や、地域包括支援センターにおける介護予防事業（運動機能向上、口腔機能向上等）を活用し、認知症の予防や閉じこもり高齢者の社会参加を推進する。

24年度の
評価結果

補足事項

1. 施策の成果水準とその背景の補足事項

高齢化状況

国の状況（25年度高齢社会白書より）

- ・ 24年10月高齢者人口 過去最高の3,079万人、高齢化率:24.1% 23年:23.3% 今後総人口が減少するなか高齢化率は上昇する。
- ・ 団塊世代が65歳以上となる平成27年には3,395万人(26.8%)となりその後も増加し平成54年には高齢者人口はピークとなりその後減少に転ずるが、高齢化率は上昇を続ける。

真岡市の状況

- ・ 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(24年3月)によると、平成27年高齢者数:19,004人高齢化率:23.3%平成29年 高齢者:19,858人高齢化率:24.5%と推計されている。
- ・ 25年4月1日現在の真岡市住民基本人口によると、65歳:1,340人、64歳:1,450人、63歳:1,367人、62歳:1,409人、61歳:1,281人、60歳:1,282人となっており、この年代の人口に占める割合が一番高い。